

京都おもいやり駐車場利用証制度 に関するアンケート結果について



平成25年3月
京都府福祉・援護課

1 目的

制度開始から1年が経過したことから、駐車場の利用実態をはじめとする制度の導入による効果、利用者及び施設管理者のニーズ等を把握し、今後のより適切な制度運営につなげる。

2 実施概要

(1) 実施期間

平成24年11月

(2) 調査対象

利用者:500人 (利用者2,816名から地域ごとに無作為抽出)
(調査対象数を窓口地域ごとに比例配分)

協力施設:200施設 (協力施設835施設から無作為抽出)

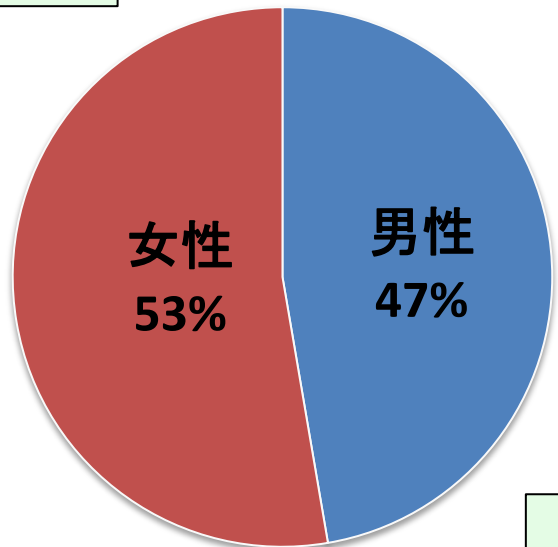
(3) 回収結果

利用者:357名(回収率:71.4%)

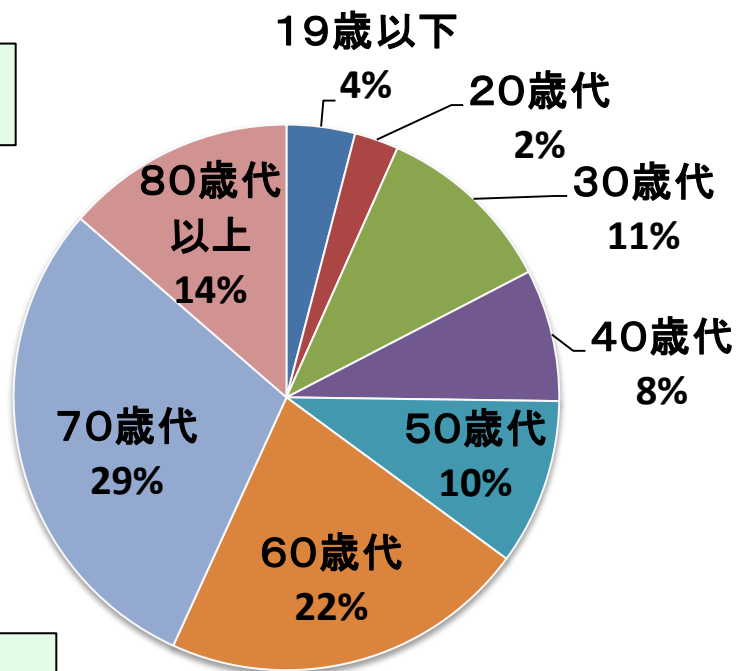
協力施設:138施設(回収率:69.0%)

利用者アンケート結果

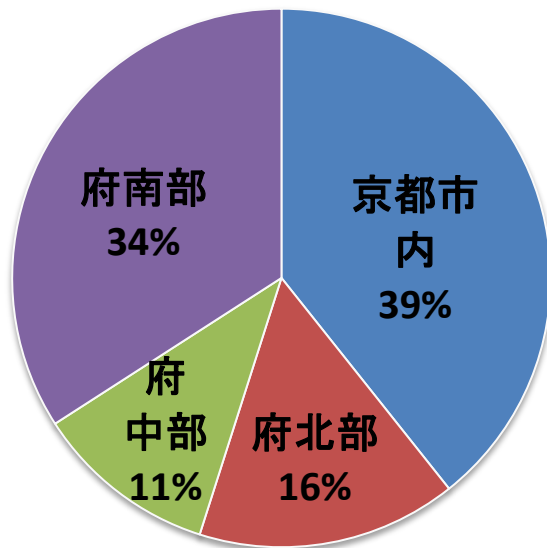
性別



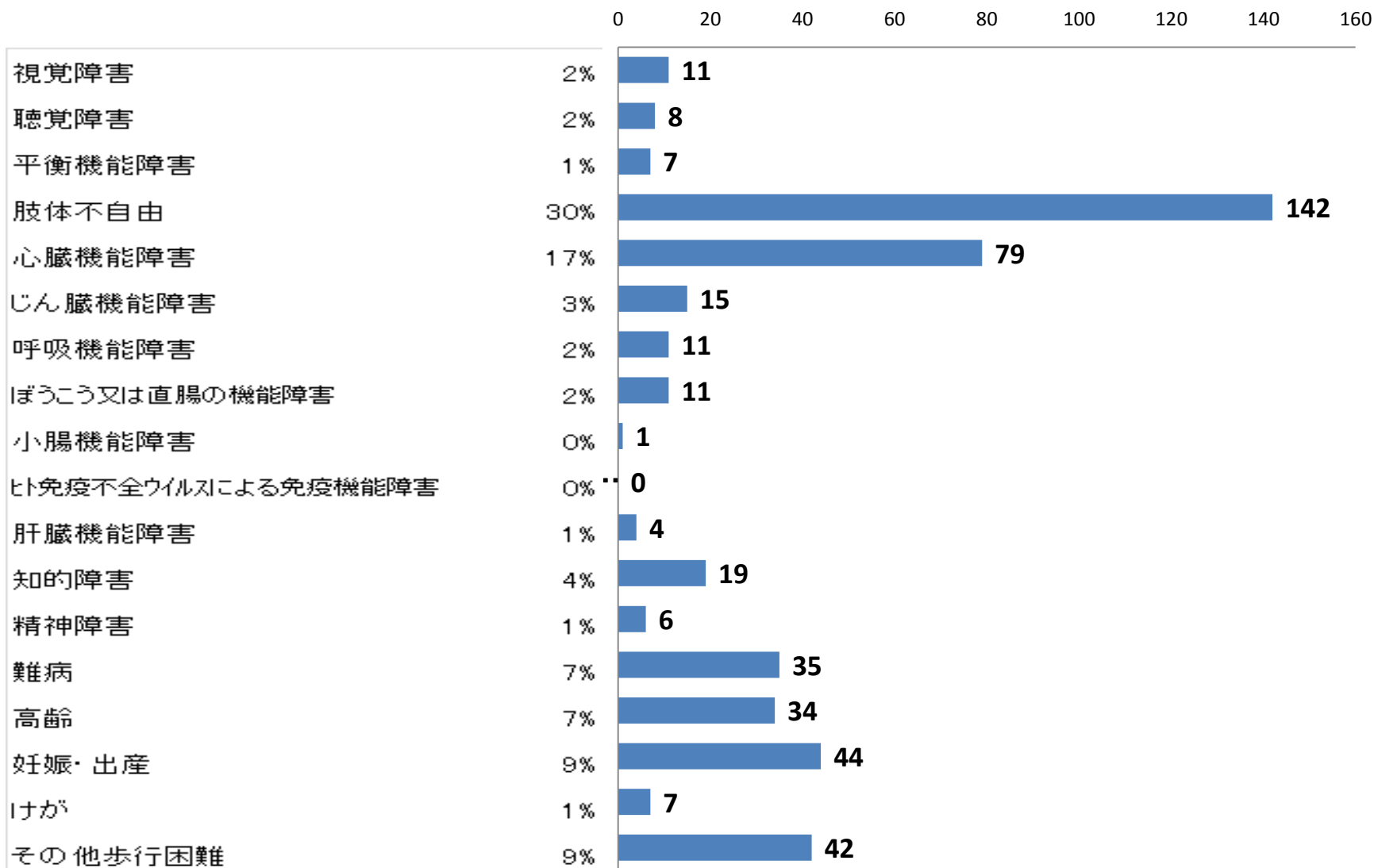
年齢



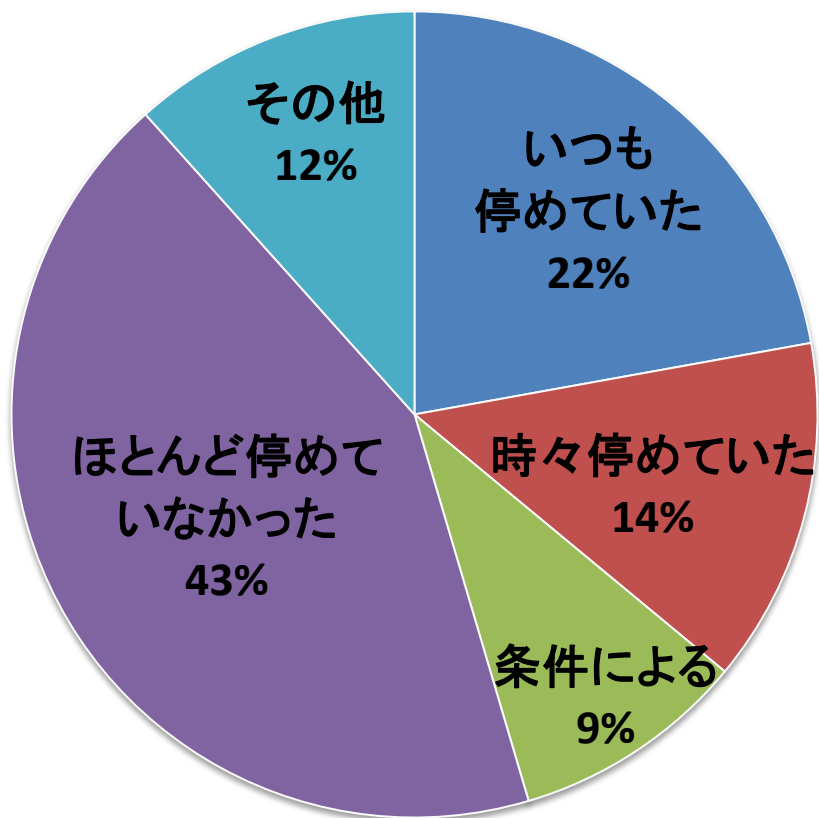
お住まいの地域



申請時の身体状況



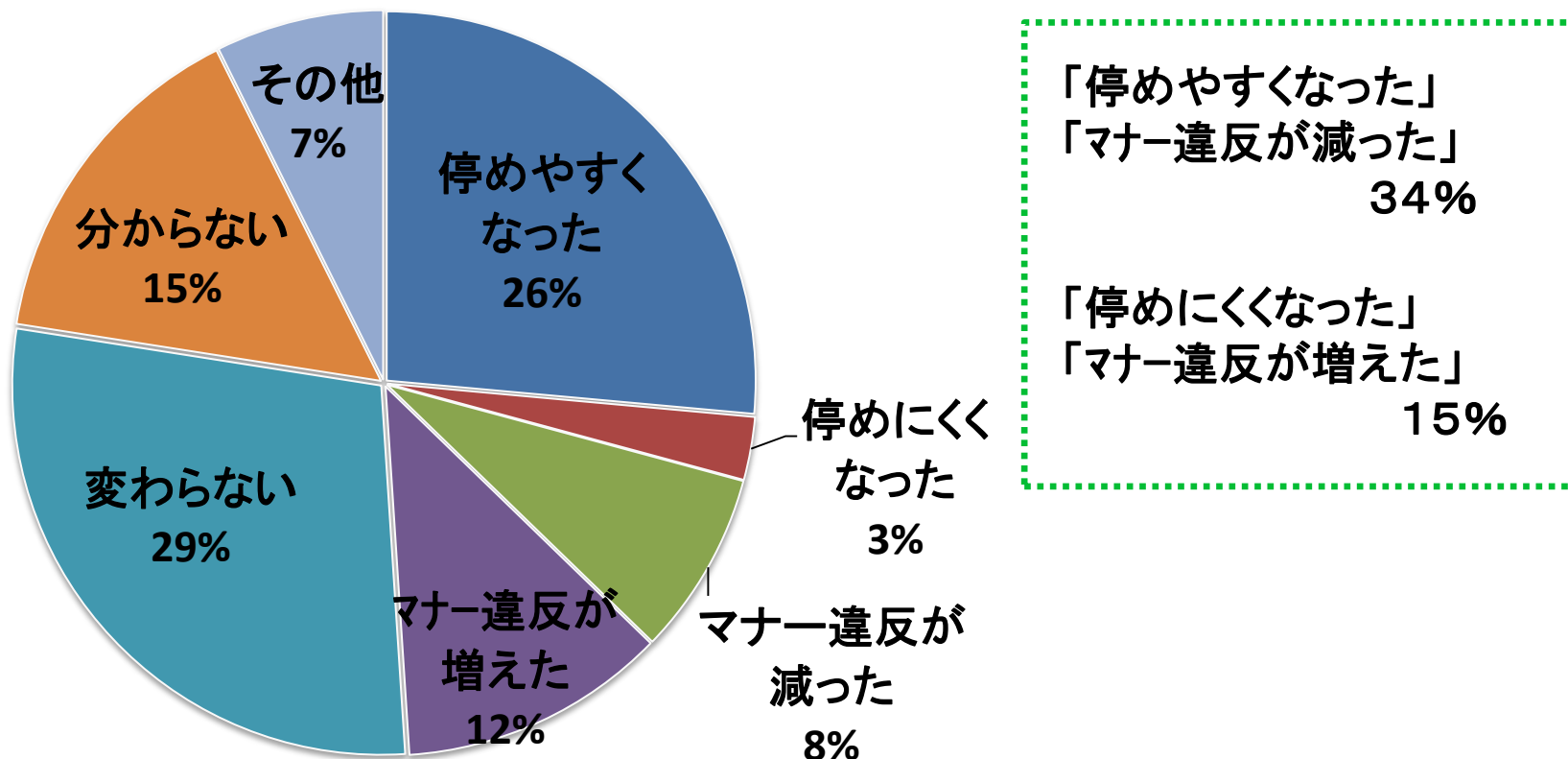
利用証発行前の身障者用駐車場の 利用状況



「停めていた」
36%

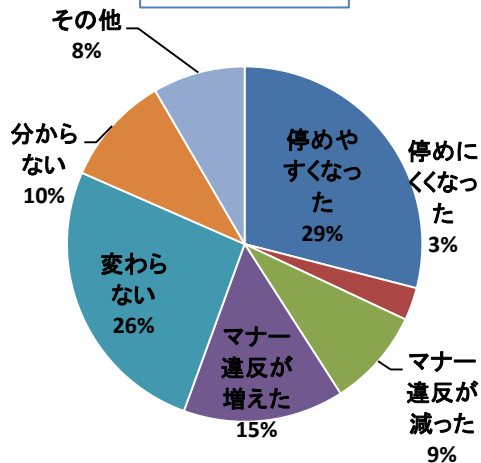
「停めていなかった」
43%

制度導入後の駐車場の利用状況

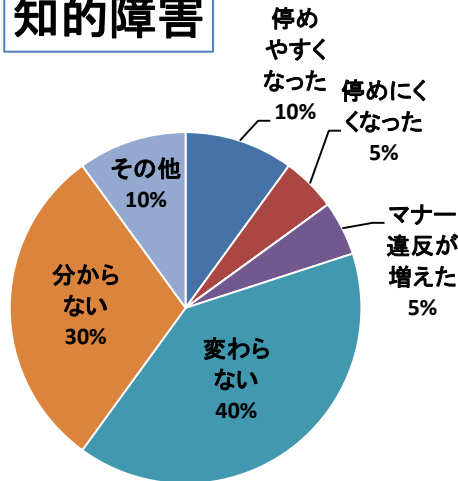


利用者アンケート結果

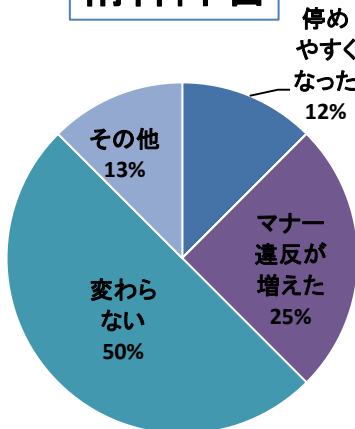
身体障害



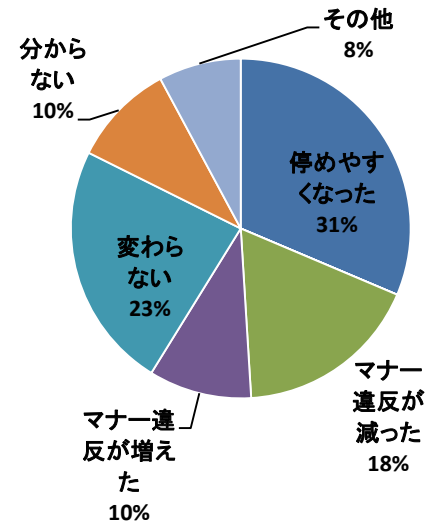
知的障害



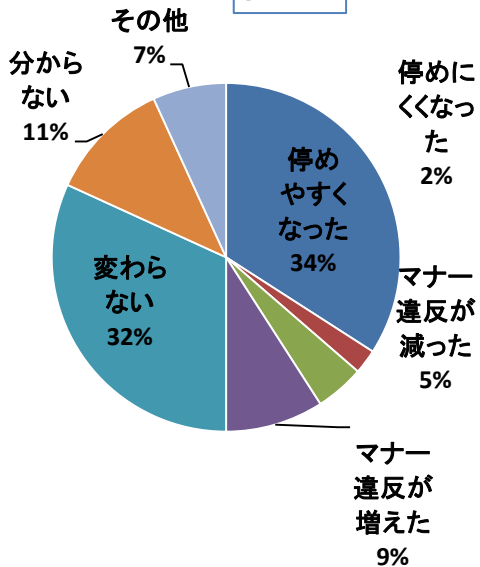
精神障害



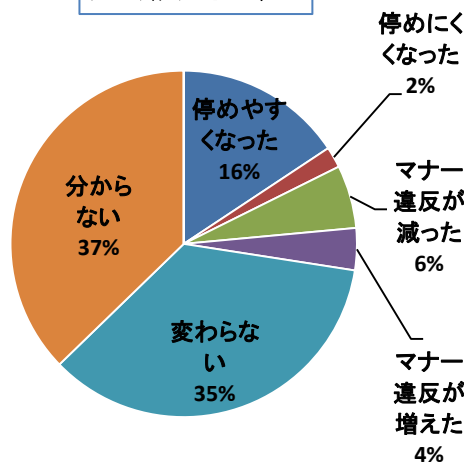
難病



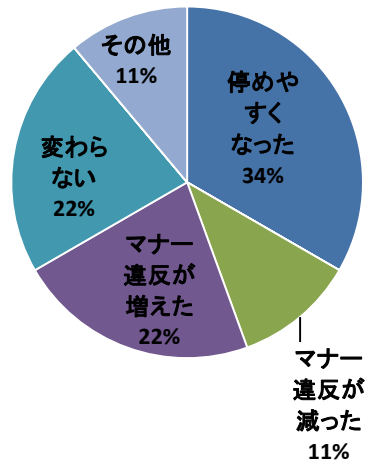
高齢



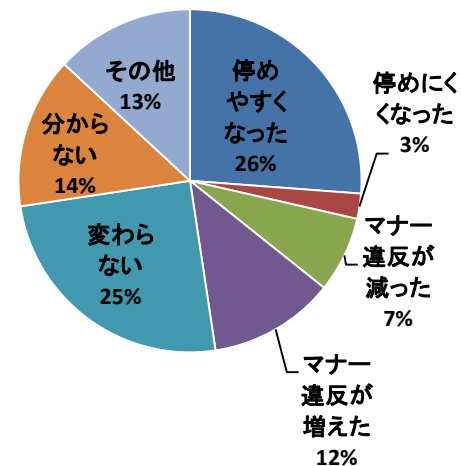
妊娠・出産



けが

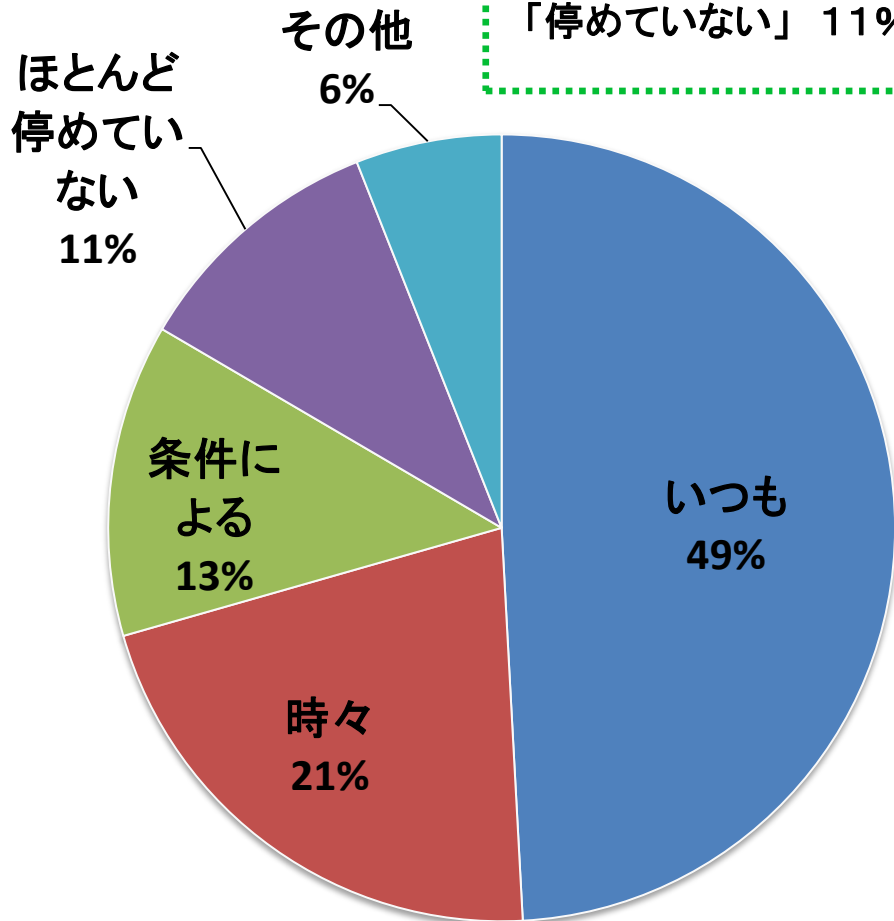


その他

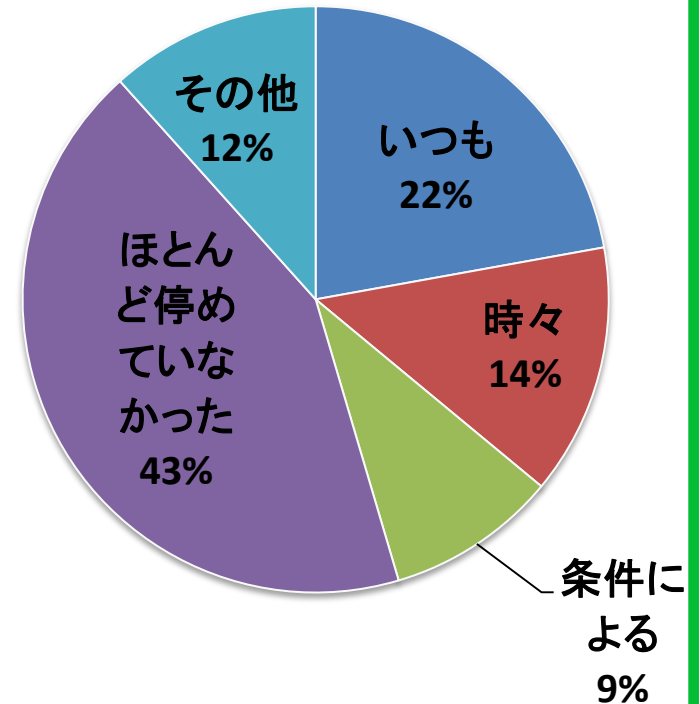


現在の身障者用駐車場の利用状況

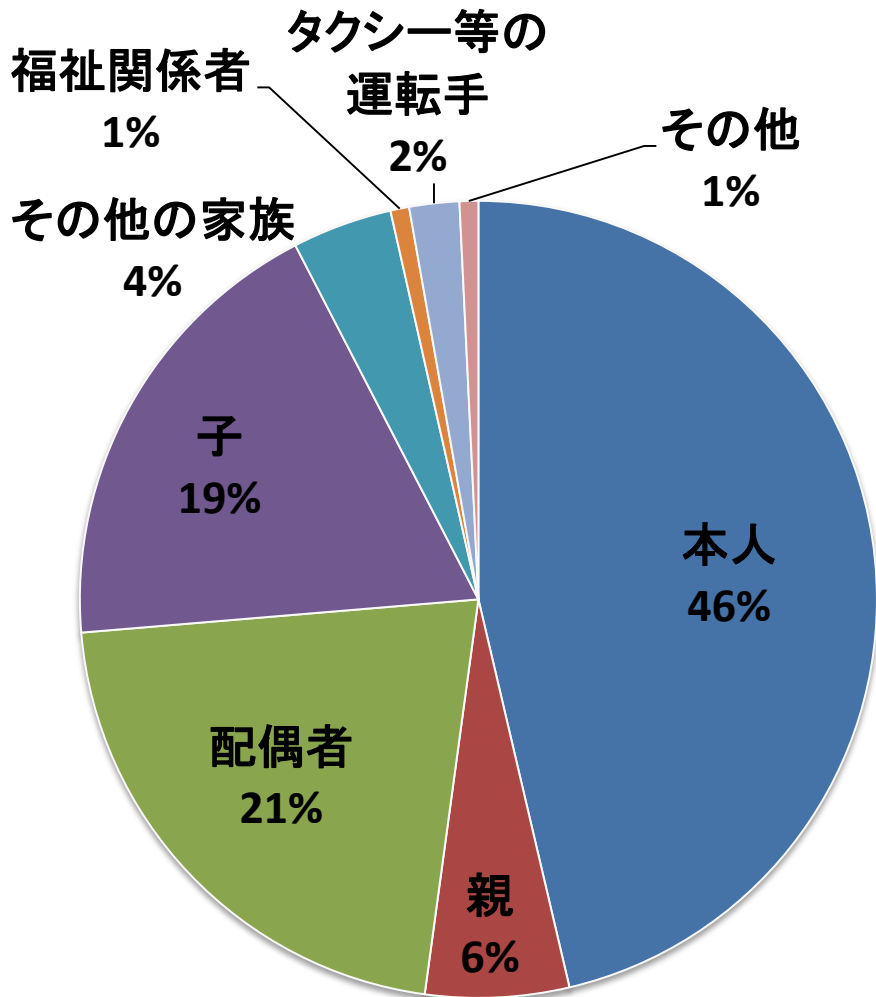
「停めている」 70%
「停めていない」 11%



利用証発行前の駐車場利用状況

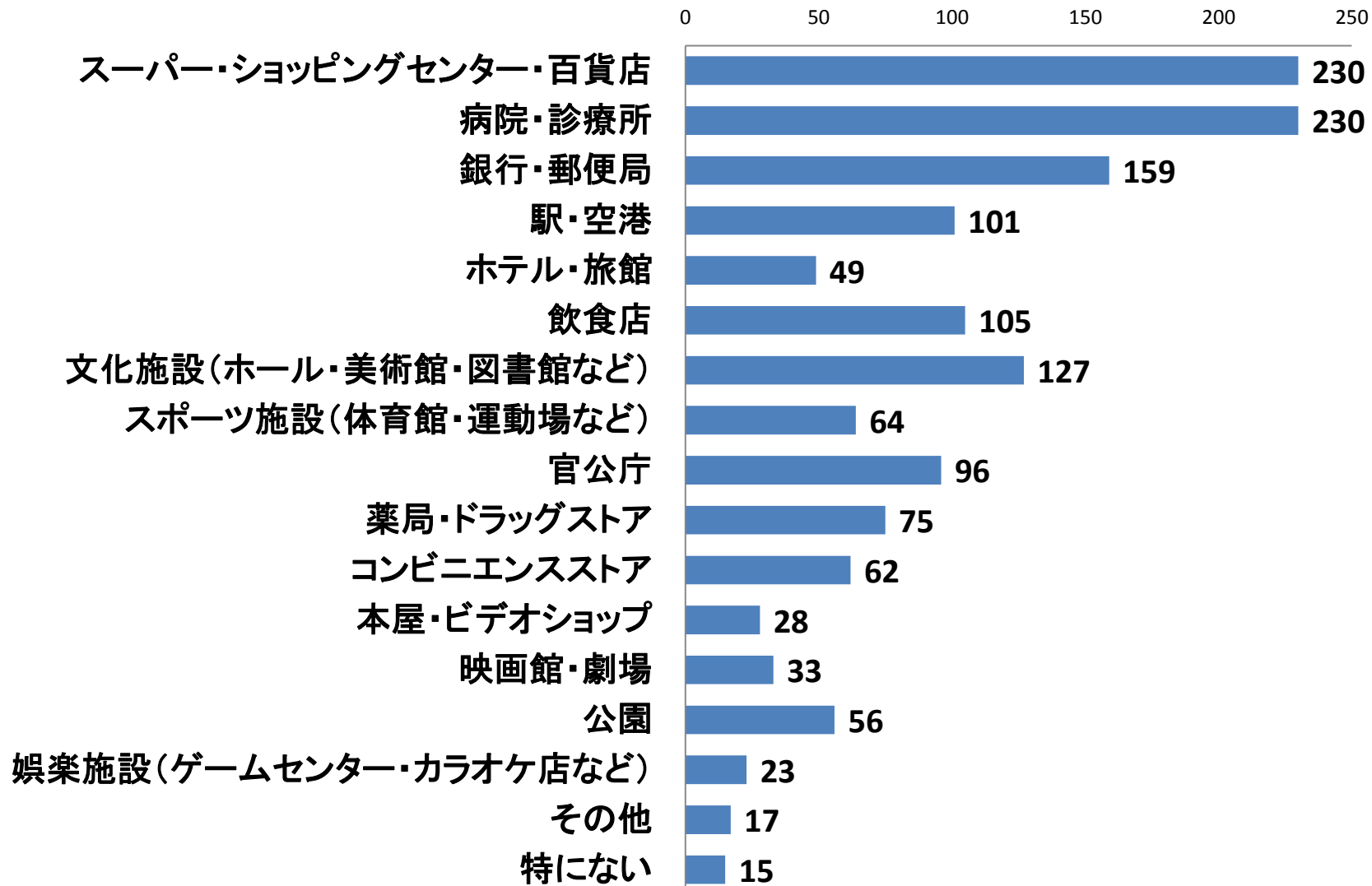


外出時の車の運転手



「本人」	46%
「家族」	50%
「その他」	4%

おもいやり駐車場を設置して欲しい施設



■ 主な意見・要望

【制度全体】

- 利用証があると安心して停められ大変助かる。
- マナー違反がなくなるよう条例化すべき(罰則検討)
- 妊産婦について就学前の子どもが複数いる場合は、子どもが就学するまで使えるようにしてほしい。
- 「おもいやり」という表現は曖昧であり、「専用」などにすべき。
- 申請できる窓口を拡大してほしい。

【広報・教育関係】

- 制度があることをもっと広報してほしい。
- 妊産婦の場合、通院や市役所等での資料配付の際に制度の資料を配付すれば、もっと利用する人が増えると思う。
- 真剣に障害者の立場になって、優しさ・譲り合い・思いやりの心を一人でも多くの方に持って欲しい。
- 良い制度だと思う。相互扶助の精神は日本人の心。元気になったら助ける側になりたい。幼少の頃からこの精神を育ててあげたらおもいやりのある大人に育つと思う。

■主な意見・要望

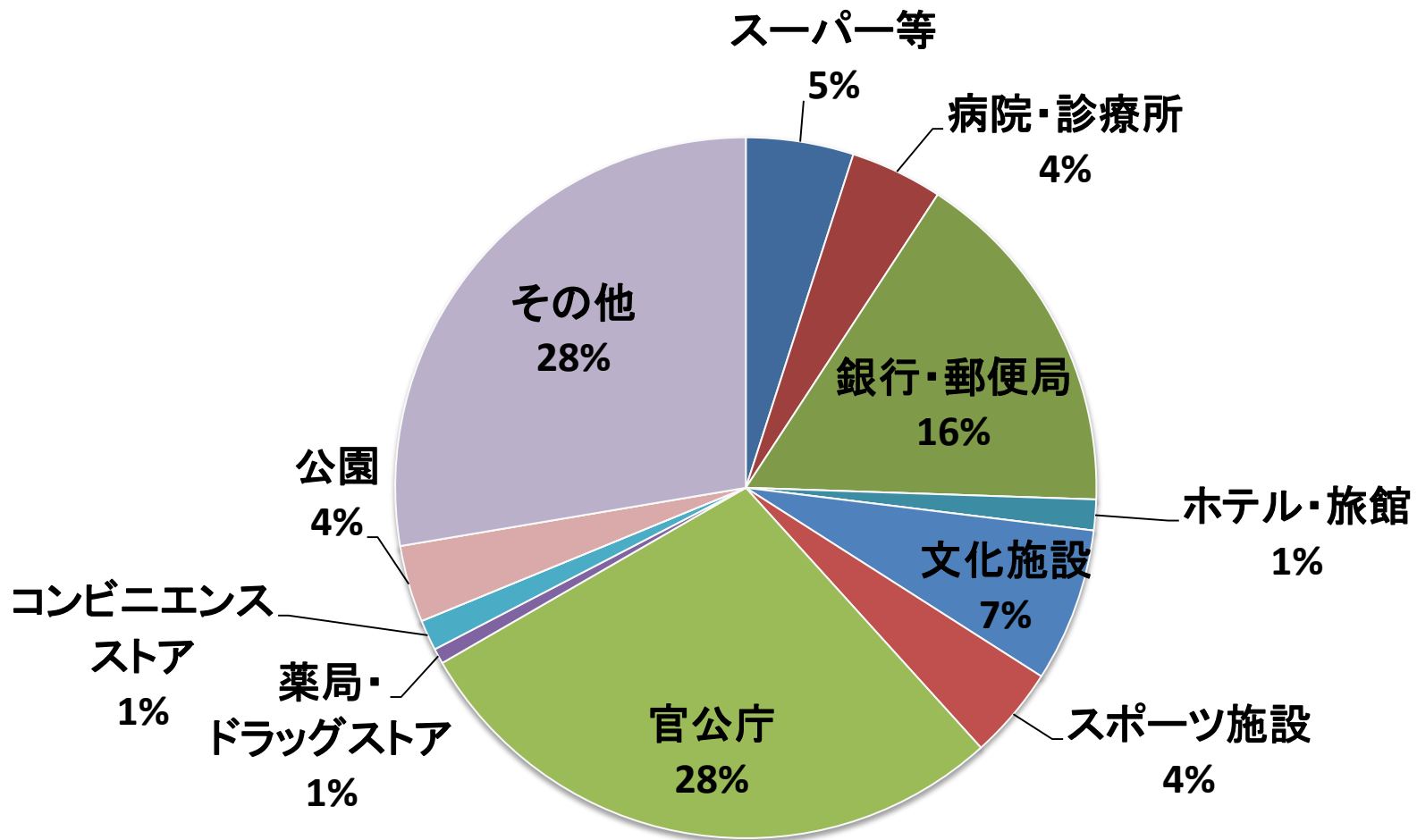
【駐車場関係】

- 協力施設が少ないため、施設数を増やしてほしい。
- 協力施設には、マナーを守るように義務付けしてほしい。
- 設置については、病院、診療所、官公庁くらいで十分ではないか。あまり多く設置されすぎると反感をもたれるおそれがある。

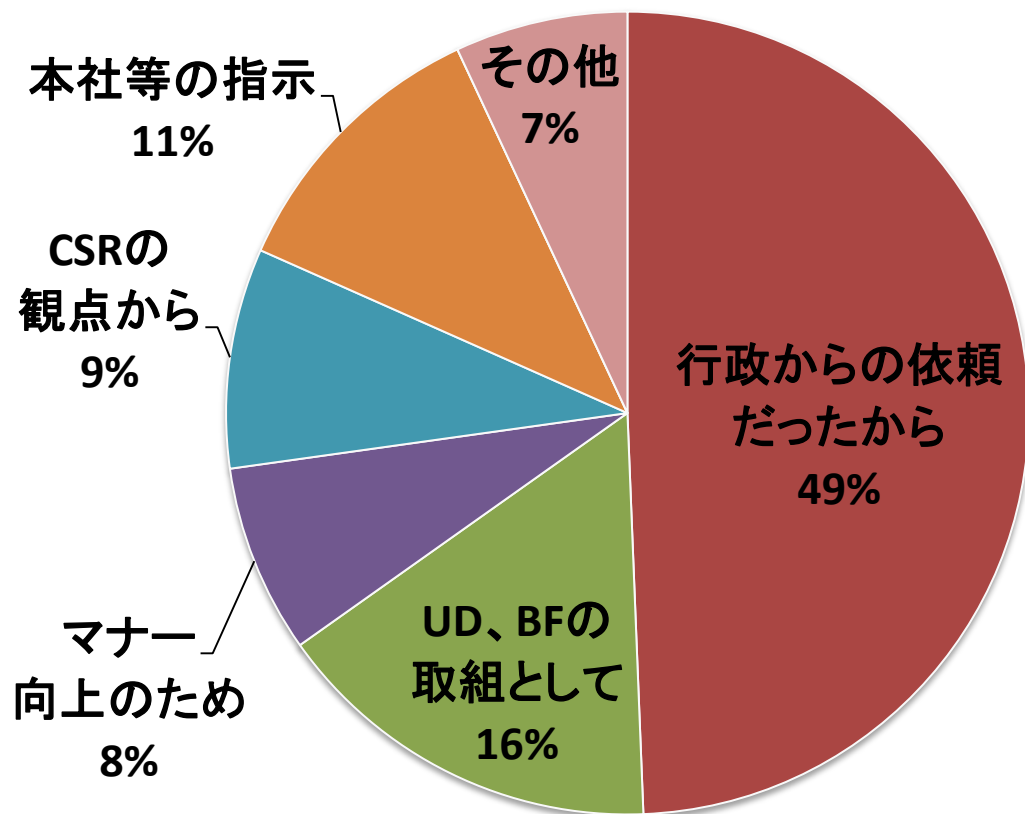
【利用証関係】

- 利用証の大きさをもう少し小さくしてほしい。
- ミラーにかける利用証は、駐車するまでかけられないので、シール式等、常に表示できるタイプの方がいいのでは。
- 利用証の材質を変えてほしい。(熱に弱い)

施設種別



制度協力のきっかけ



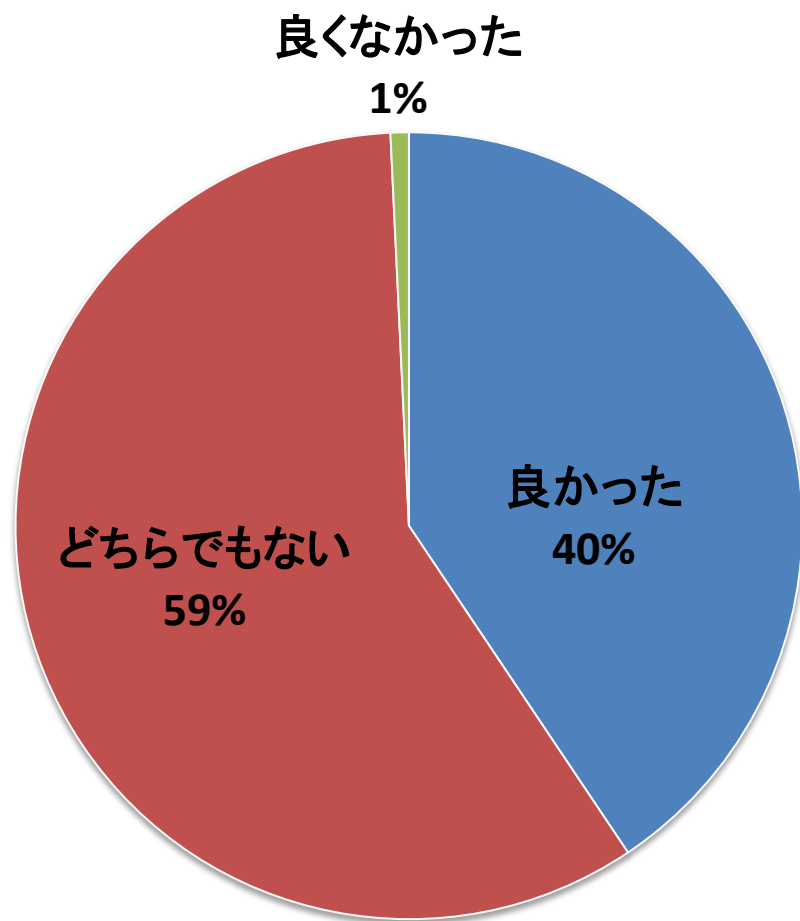
「行政からの依頼」
49%

「UD、BFの取組」
16%

「マナー向上」
8%

「CSRの観点」
9%

制度に協力して良かったか



「良かった」
40%

「どちらでもない」
59%

■ 制度に協力して良かったか。その理由

【良かった】

- マナー違反をする方が減った。
- ルールを守らない人に対する注意喚起になる。
- 当該スペースがほぼ空いており、必要な方が常に利用が可能な状態を維持できる。
- 企業として社会に貢献できているから。
- お客様へのPRになった。
- 高齢者の増加に伴い、弱者を思いやる心を育てる取組につながる。
- ユニバーサルデザインの普及に貢献できるから。

■ 制度に協力して良かったか。その理由

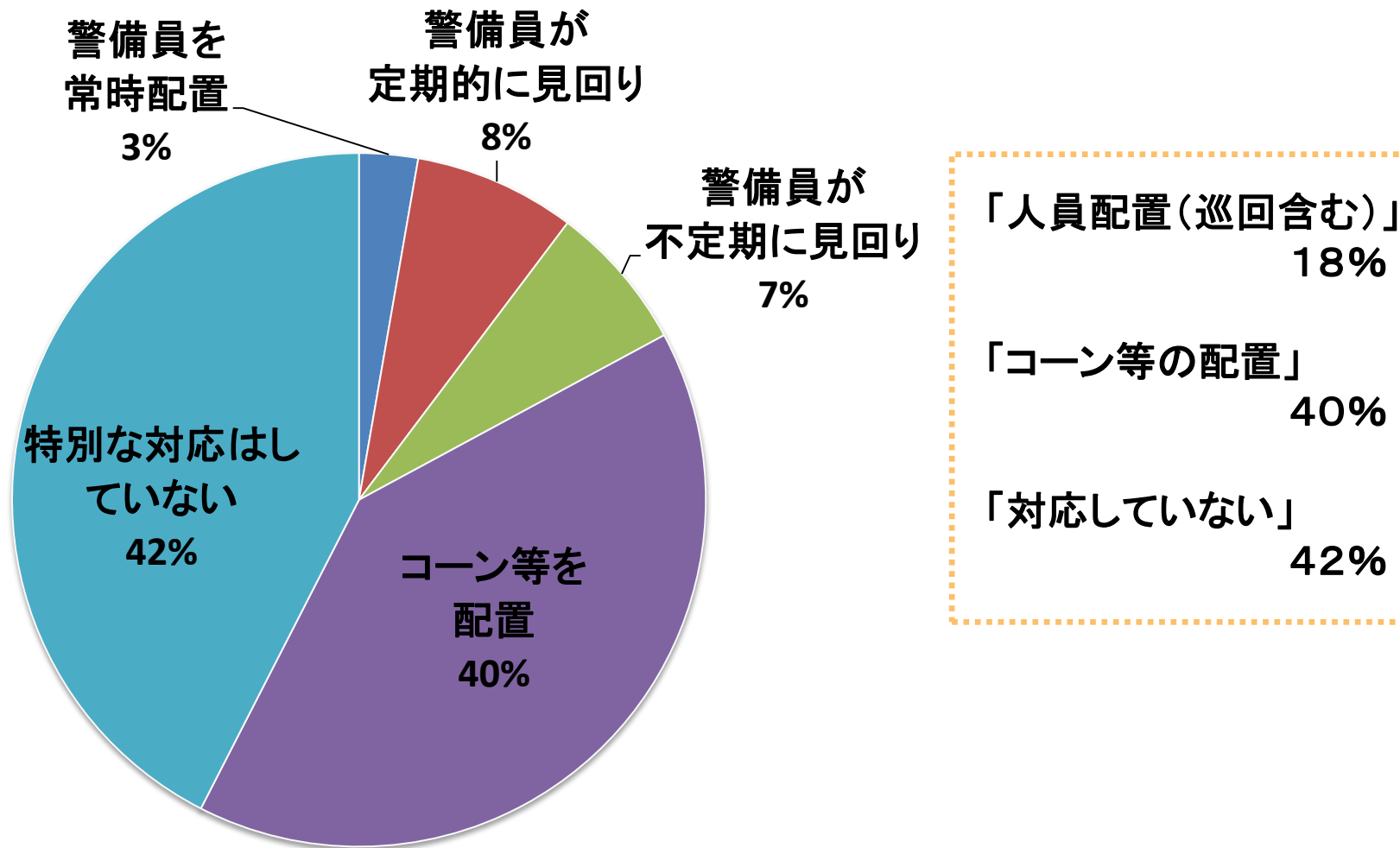
【どちらでもない】

- マナー違反者の反論が激しく、長くかかり、本来業務に支障が出る。
- 駐車場確保が難しいときもある。
- 制度を知らない方が多いのか、あまり変化が感じられない。
- 主旨が一般的に伝わらない。
- 一般の利用者が少なく、設置効果はあまり期待できない

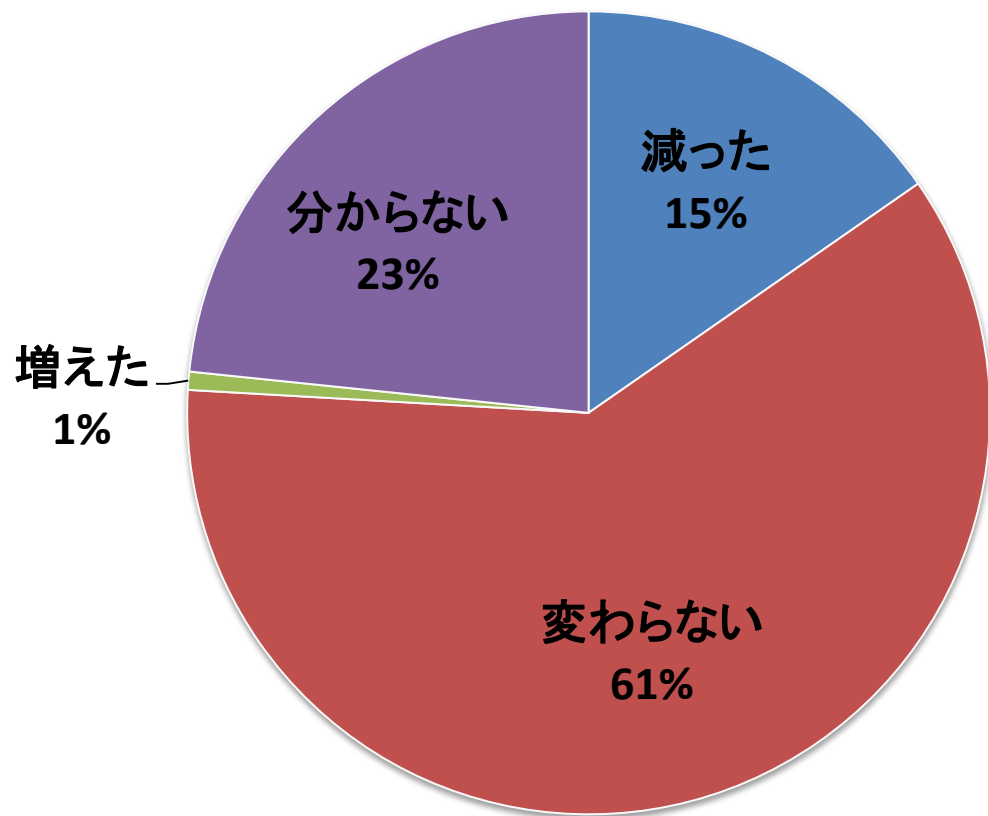
【良くなかった】

- 長時間及び閉場時刻を越える利用が恒常化している。

駐車場の管理方法



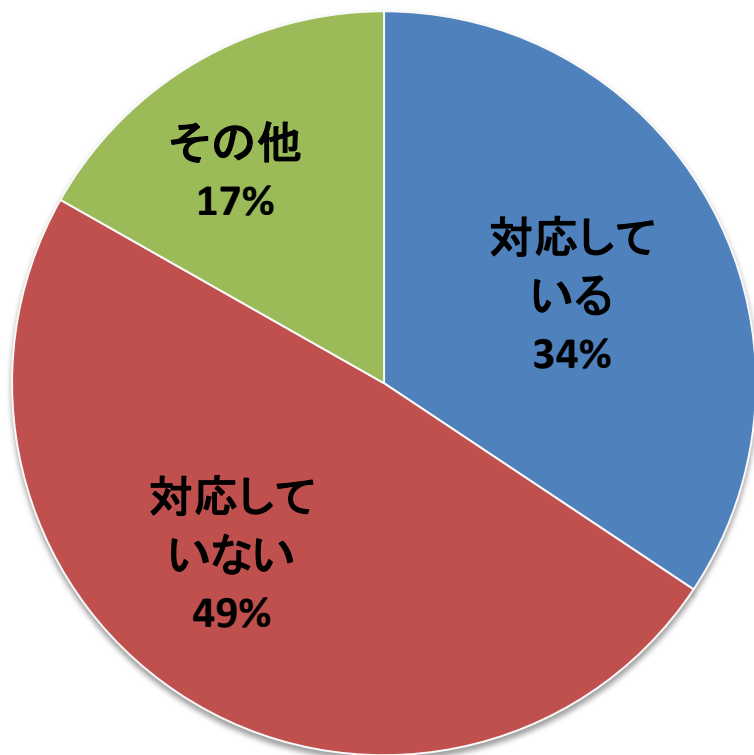
登録後のマナー違反の数の変化



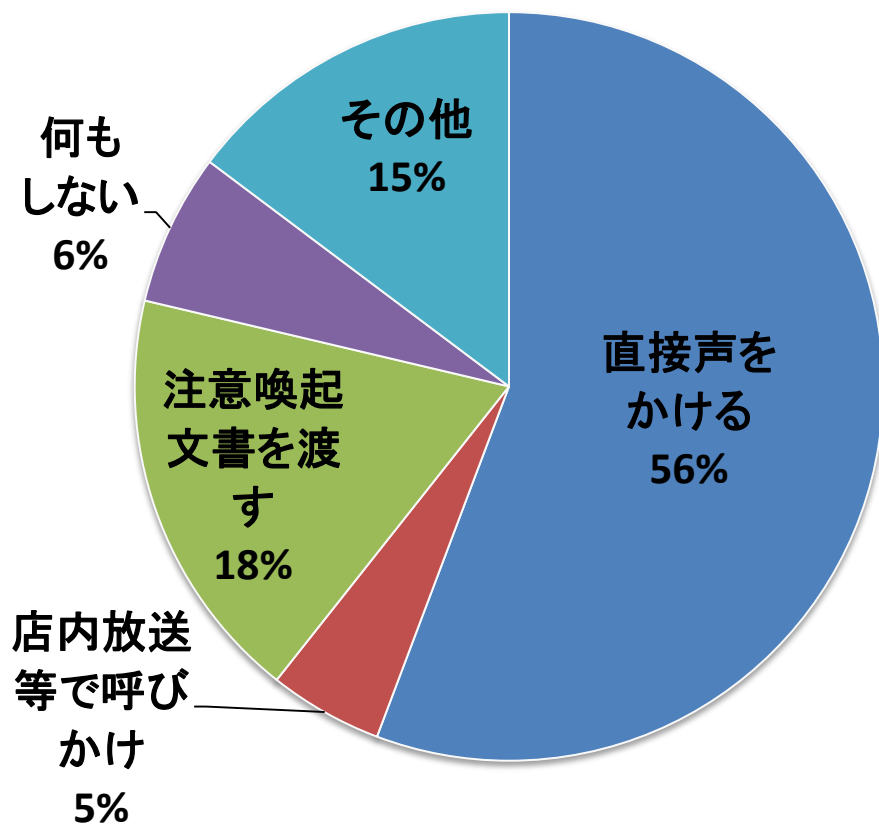
「減った」
15%

「変わらない」
61%

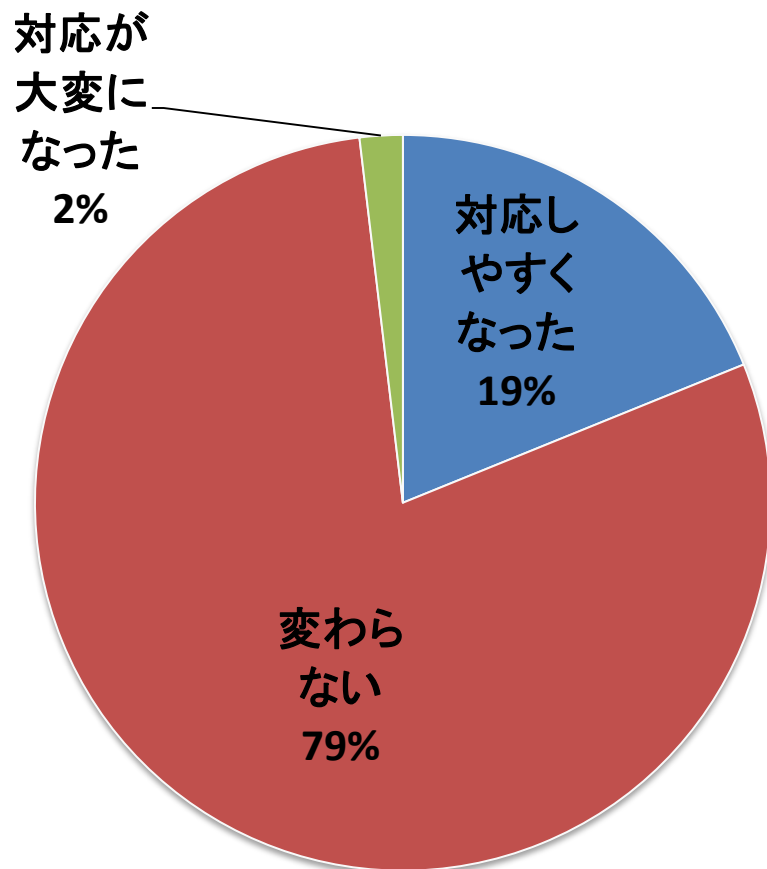
マナー違反への対応



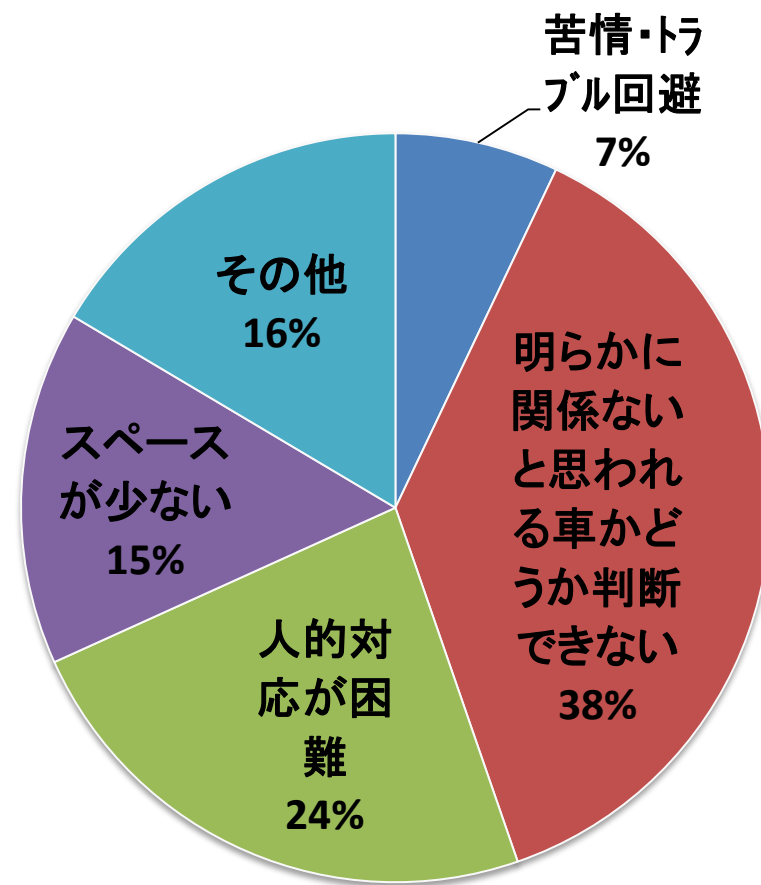
対応方法



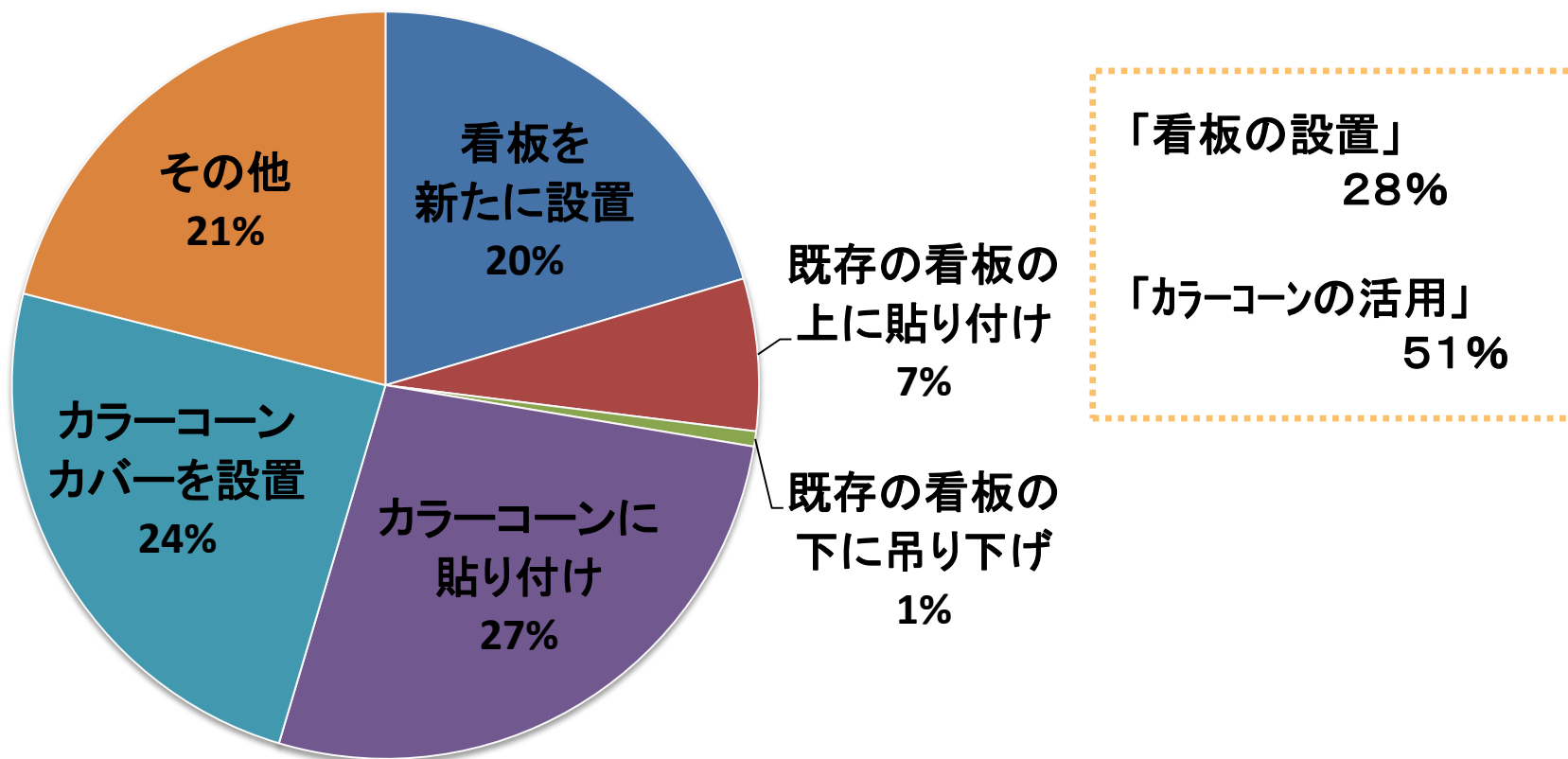
マナー違反への 対応の変化



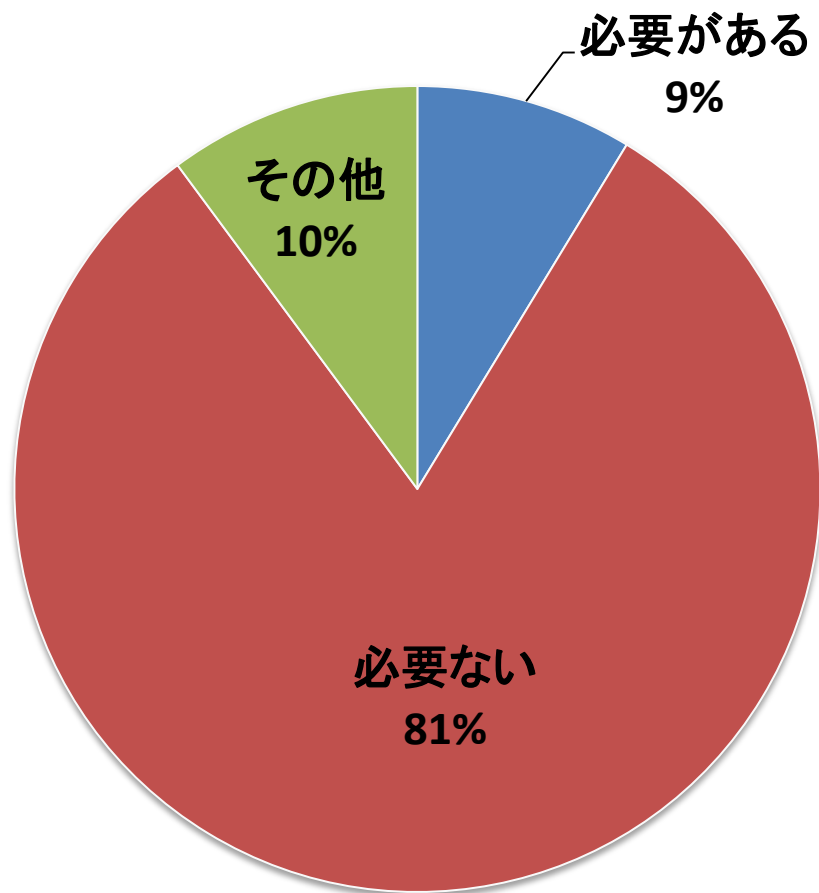
対応していない (できない)理由



ステッカー・看板等の設置状況



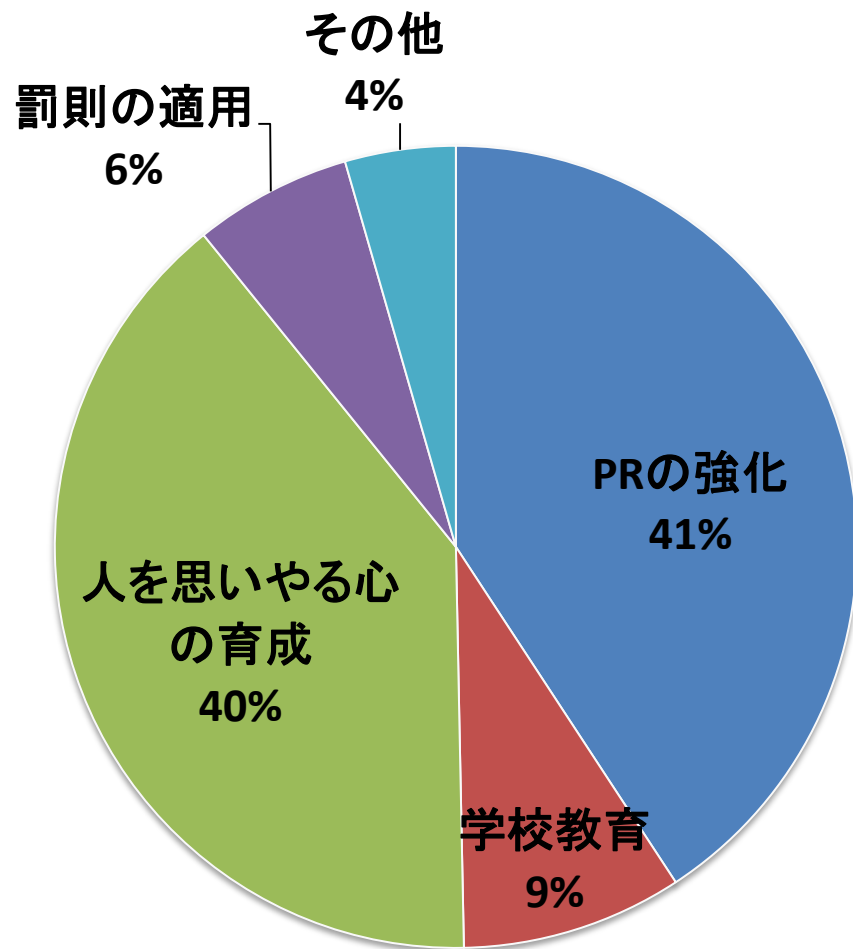
自施設に本制度の駐車場を増やす必要性



「必要がある」
9%

「必要ない」
81%

府へ求める取り組み



「制度のPR」
41%

「教育、思いやりの
心の育成」
49%

「制度の罰則適用」
6%

■ 主な意見・要望

- 都市部や観光地にはこの制度が必要かもしれないが、駐車場に困っていないところにはあまり必要ない。
- 病院駐車場は、身障者や身体の故障、病気のための急患他、公共交通機関の利用が困難な方が利用するものなので、本制度適用の方がほとんどであり、効果があまりない。
- 制度の更なる周知が必要。例えば、チラシによる啓発や、ある時期に集中的にPR活動を行うなど(〇〇週間や〇〇月間など)。
- とても良い制度だと思う。
- 車いすのお客様が少ないため、短時間ならと思い、対応していない。
- 駐車違反の取り締まりを強化してほしい。